

山田副理事長がベトナム訪問：ミン筆頭副首相、財政省フォック大臣との会談、 ホーチミン市都市鉄道1号線を視察

2022年8月25日
国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

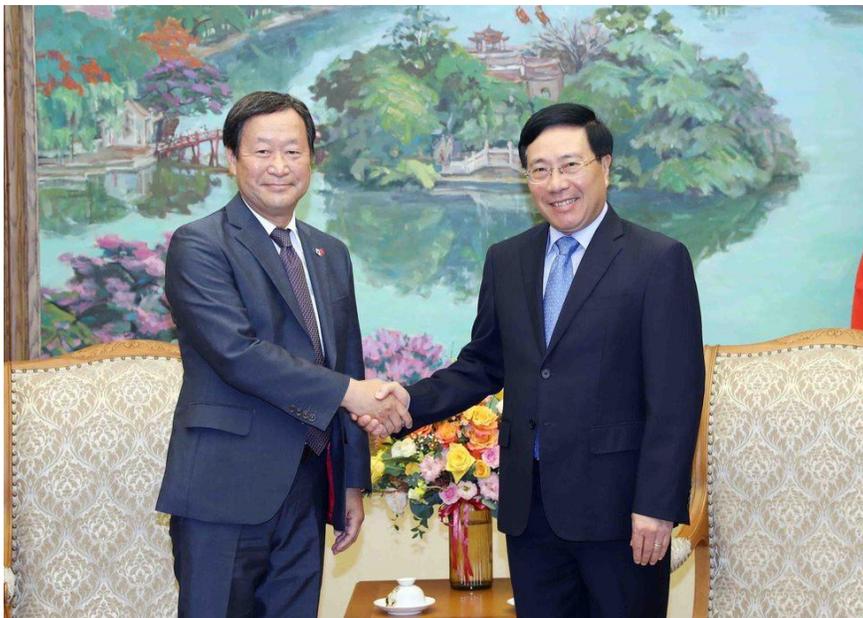
山田順一 JICA 副理事長は、8月21日から23日にかけてベトナム社会主義共和国を訪れ、ハノイでミン筆頭副首相及び財政省フォック大臣と会談するとともに、ホーチミン市都市鉄道1号線の建設現場を視察しました。

1. ミン筆頭副首相との会談

冒頭、両者とも2022年5月の面談以来の再会を喜び、ミン筆頭副首相から、ベトナムの社会経済の発展に対する日本のODAによる協力について、感謝の意が述べられました。山田副理事長からは、ベトナムの持続的な成長に向け、さらに重要となるインフラ整備や財政基盤の強化など、今後の日本の貢献につき提案を行うとともに、これら協力を通じた両国の一層の関係強化へ期待が示されました。また、実施中プロジェクトの一層の進捗促進に向け、日越双方の緊密な連携・協力を要請しました。

ミン筆頭副首相からも、ベトナムの発展のためには日本のODAの活用は不可欠であるとして、JICAからの提案に謝意を示すとともに、ODA案件の具体化に向け、政府内で検討していく意向が示されました。そして、様々な分野で日越の連携が促進され、ますますJICAとの協力が進展することへの期待が示されました。

会談の最後には、プロジェクトの進捗状況確認・課題解決、新規案件の提案等について、今後も両者の定期的な面談を通じた協議の継続を約束し、固い握手で再会を期しました。



会談後に握手をする山田副理事長とミン筆頭副首相

2. フォック財政大臣との会談

冒頭、山田副理事長より、実施中プロジェクトの一層の進捗促進や ODA 協力の更なる活性化に向けた財政省からの協力につき、期待が示されました。これに対し、フォック財政大臣からは、日本・JICA によるベトナムの経済・社会発展への貢献につき謝意が示され、引き続きベトナム事務所を通じて JICA と密に連携しながらプロジェクトを推進していく旨、応答されました。

両者とも翌年、2023 年の日越外交関係樹立 50 周年が、両国のさらなる発展の節目となることを祈念し、会談を終えました。

3. ホーチミン市都市鉄道1号線(ベンタインースオイティエン間)の視察

8月22日、山田副理事長はホーチミン市都市鉄道1号線の建設現場を視察しました。三井住友建設、清水建設、住友商事、日立製作所、日本工営等の案内により、ベンタイン駅やバソン駅構内を訪れ、プラットホームドアや点字ブロック等、安全に配慮した設備、躯体工事が概ね完了している状況を確認しました。山田副理事長からは、新型コロナウイルスの影響下でも工事を進めた日越両国の関係者への賞賛と、ホーチミン市の更なる発展への期待が示されました。



バソン駅のプラットホームを視察する山田副理事長



JICA は、2023 年の日越外交関係樹立 50 周年、さらにその先の両国の末永い友好関係強化に寄与すべく、引き続きベトナムの発展に協力していきます。

お問い合わせ： JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜
Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp